

令和2年度 施策評価シート

基本目標		安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	430	高齢者が生きがいをもって暮らせるしくみをつくる
施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する
施策の目標	高齢期を迎えた区民が、地域活動や趣味、特技を活かしたボランティア活動等を通じて社会参加し、生きがいをもち、充実感のあるセカンドライフを過ごしています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「生きがいがある」65歳以上の区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	72.0%				73.0%					75.0%
実績	71.1%									

指標名	シルバー人材センター就業延べ日人員及び実就労者数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	延べ日人員：182,883人 実就労者：1,370人	延べ日人員：183,422人 実就労者：1,370人	延べ日人員：183,963人 実就労者：1,380人	延べ日人員：184,503人 実就労者：1,390人	延べ日人員：185,043人 実就労者：1,400人	延べ日人員：185,583人 実就労者：1,410人	延べ日人員：186,123人 実就労者：1,420人	延べ日人員：186,663人 実就労者：1,430人	延べ日人員：187,203人 実就労者：1,440人	延べ日人員：187,743人 実就労者：1,450人
実績	延べ日人員：182,883人 実就労者：1,370人	延べ日人員：185,475人 実就労者：1,272人	延べ日人員：188,165人 実就労者：1,163人	延べ日人員：193,824人 実就労者：1,156人						

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
令和元年度墨田区介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、「生きがい」について「ある」と回答した高齢者が70.4%いる一方で、「思いつかない」と回答した高齢者が25.6%いた。このことから生きがいを感じられない高齢者が一定数存在していることがわかる。 現在、人生を前向きにとらえている人は健康で長生きする傾向があることが明らかになっており、就業や社会的活動、多世代交流など多様な形で高齢期の社会生活を支援する必要がある。	H29	461,824
	H30	394,575
	R1	392,682

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	多様な事業展開が高齢者の社会参加に対する選択肢を拡げ、高齢者の生きがいにつながっていることから、施策目標が一定程度達成されている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
区内老人クラブの組織率など、既存の事業は一定の成果を上げており、翌年度の施策の方向性は現状維持とする。一方、比較的年齢の若い元気高齢者を中心に価値観が多様化しつつあり、既存の事業が高齢者の社会参加に結び付いていない面がある。既存の事業の質の向上が求められている。	
【今後の具体的な方針】	
比較的年齢の若い元気高齢者を社会参加へ結び付けていけるよう、事業の進め方について引き続き検討し、実施していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	シルバー人材センター運営 助成	98,127	1,311	99,438	184,503	現状維持
					163,624	令和元年度
2	老人クラブ運営助成事業	47,817	4,369	52,186	54,000	現状維持
					49,245	令和元年度
3	介護ボランティア・ポイント 制度	1,258	2,621	3,879	206	改善・見直し
					175	令和元年度
4	セカンドステージ支援事業	2,832	3,495	6,327	1,150	現状維持
					926	令和元年度
5	にこにこ入浴デー事業費	79,948	3,495	83,443	294,000	改善・見直しのうえ継続
					278,041	令和元年度
6	元気高齢者施設「いきいき プラザ」管理運営費	47,481	1,748	49,229	65,000	現状維持
					49,502	令和元年度
7	高齢者福祉センター運営 経費	81,582	3,495	85,077	102,000	現状維持
					93,324	令和元年度
8	ふれあい給食事業助成	1,710	874	2,584	3,944	現状維持
					2,745	令和元年度
9	長寿者に対する祝金の贈 呈事業費	27,352	3,495	30,847	4,022	改善・見直しのうえ継続
					3,945	令和元年度
10	すこやか長寿夫婦表彰経 費	494	1,748	2,242	130	改善・見直しのうえ継続
					143	令和元年度
11	長寿マッサージ事業費	3,745	1,748	5,493	1,480	現状維持
					1,356	令和元年度
12	姉妹区提携交流ゲートボー ル大会	336	1,748	2,084	140	現状維持
					113	令和元年度

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	会員数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,880	令和7年度	目標	1,798	1,800	1,810	1,820
				実績	1,798	1,721	1,724	1,663
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,830	1,840	1,850	1,860	1,870	1,880
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	会員の就業拡大のためには、まずは会員数を増やす必要があるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	就業延べ日人員				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
188,000		令和7年度	目標	182,883	183,423	183,963	184,503	
			実績	184,477	165,479	168,169	163,624	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		185,000	185,540	186,080	186,620	187,160	188,000	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
会員の就業拡大を表す数値であるため								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	シルバー人材センターは、高齢者のライフスタイルに合わせた就業の機会を提供することにより、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現に貢献している。今後も、シルバー人材センターが安定的な運営を図れるよう必要な支援を行っていく

課題・問題点
新規会員の確保が課題である。昨今、労働力人口の減少により、各種求人が増えている。高齢者の就業先として多様な選択肢が用意されているため、現在はシルバー人材センターだけが高齢者の就業の受け皿ではなくなってきており、新規会員の確保が難しくなっている。

補助金名称	公益社団法人墨田区シルバー人材センター補助金		主管課・係(担当)
根拠法令	公益社団法人墨田区シルバー人材センター補助金交付要綱		高齢者福祉課支援係
補助概要	公益社団法人墨田区シルバー人材センターの運営費を一部補助する。		5608-6168
目的	<p>公益社団法人墨田区シルバー人材センターに対し、補助金を交付することにより、事業運営を円滑にし、センターの充実と発展に寄与する。</p> <p>なお、シルバー人材センターは、就労を通じた高齢者の生きがいづくりを支援し、地域社会の活性化に寄与する団体である。</p>		
対象	公益社団法人墨田区シルバー人材センター		
基準	区独自基準		
補助条件	<p>以下のとおり、補助金の交付を行う。</p> <p>1 補助対象事業 (1) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供、調査・相談等 (2) 向島、緑両作業所の運営</p> <p>2 補助対象経費 補助対象事業に係る職員人件費、管理運営費、事業費の一部</p>		
経過	開始年度	昭和56年度	終了予定
	<p>[昭和56年4月] 補助金交付開始 [平成29年4月] 労働者派遣事業開始</p>		
議会質問の状況	<p>[平成30年1定] センターへの支援について(就労対策と生きがい対策) [平成30年決算特別委員会] センターの運営助成費について [平成31年1定] アクティブシニアの方々への施策について [平成31年1定] シルバー人材センターの活用について</p>		
その他特記事項	<p>(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 23区すべてが補助を実施している</p>		

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	
予算額(事業費)		102,626	101,873	107,997	103,164	102,424	99,562	
決算額(令和2年度は見込み)		101,946	101,873	107,997	98,411	98,127	99,562	
財源	国							
	都	12,495	12,495	13,433	13,484	13,891	12,660	
	その他							
一般財源		89,451	89,378	94,564	84,927	84,236	86,902	
執行率(%)		99.3%	100.0%	100.0%	95.4%	95.8%	100.0%	
補助金の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	会員数				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		1,880	R7	目標	1,798	1,800	1,810	1,820
				実績	1,798	1,721	1,724	1,663
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,830	1,840	1,850	1,860	1,870	1,880
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	会員の就業拡大のためには、まずは会員数を増やす必要があるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	就業延べ日人員				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		188,000	R7	目標	182,883	183,423	183,963	184,503
				実績	184,477	165,479	168,169	163,624
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		185,000	185,540	186,080	186,620	187,160	188,000	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
会員の就業拡大を表す数値であるため								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	シルバー人材センターは、高齢者のライフスタイルに合わせた就業の機会を提供することにより、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現に貢献している。今後も、シルバー人材センターが安定的な運営を図れるよう必要な支援を行っていく。

課題・問題点
新規会員の確保が課題である。昨今、労働力人口の減少により、各種求人が増えている。高齢者の就業先として多様な選択肢が用意されているため、現在はシルバー人材センターだけが高齢者の就業の受け皿ではなくなってきており、新規会員の確保が難しくなっている。

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	補助金交付件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		150	R7	目標	154	150	151	150
				実績	152	149	150	148
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	150	150	150	150	150	150
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	交付件数の増加は、区内老人クラブの増加を意味し、クラブが増加することで、高齢者が活動する場が増えるため。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	老人クラブ活動回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		54,600	R7	目標	53,800	53,800	53,900	54,000
				実績	53,791	62,507	57,994	49,245
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	54,100	54,200	54,300	54,400	54,500	54,600
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
活動回数の増加は、老人クラブに加入している高齢者の生きがいにつながっているため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	<p>老人クラブでの活動は、高齢者の健康づくりや生きがいづくりのほか、地域での介護予防の担い手や友愛実践活動(高齢者の見守り)等での活躍が期待される。このことから、各クラブに対する助成金の交付を継続して実施する。</p> <p>墨田区老人クラブ連合会は、各老人クラブの活動を下支えている組織であり、老人クラブ同様助成金交付を継続して実施する。</p>

課題・問題点
<p>墨田区老人クラブ連合会主催の事業には、老人クラブに属していない区民も参加できるようにしている。事業への参加をきっかけとして、老人クラブへの加入に結び付けたいが、なかなか入会に結び付いていない。</p>

補助金名称	老人クラブ助成金			主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区老人クラブ助成要綱			高齢者福祉課支援係
補助概要	老人クラブ活動（社会奉仕活動、友愛活動、健康をすすめる活動、生きがい高める活動）の経費に対し補助する。			03-5608-6168
目的	墨田区内の老人クラブの活動に対して、その運営を助成し、老人福祉の増進に資する。			
対象	区内老人クラブ			
基準	区独自基準			
補助条件	<ul style="list-style-type: none"> 「墨田区老人クラブ運営基準」に準拠して運営される老人クラブで、設立後継続して3カ月以上活動を続けているもの 助成金交付申請書、事業計画書、収支予算書の提出が必要 			
経過	開始年度	昭和40年度	終了予定	
	[昭和40年度] 助成実施 [平成3年度] 老人クラブ助成要綱改正（交付時期2回 1回、助成額各ランク1,000円増） [平成12年度] 老人クラブ助成要綱改正（助成月額10%減額、特別事業費24,000円 21,600円） [平成30年度] 老人クラブ助成要綱改正（特別事業費を廃止し、助成金に上乘せ 助成額各ランク1,800円増）			
議会質問の状況	[平成30年決算特別委員会] 助成金増額要望書及び助成金支出の見直しについて			
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)			

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	
予算額（事業費）		37,716	36,825	36,363	36,060	36,578	35,766	
決算額（令和2年度は見込み）		36,755	36,593	35,835	35,819	35,221	35,012	
財源	国							
	都	4,370	4,370	4,291	4,291	4,233	4,233	
	その他							
一般財源		32,385	32,223	31,544	31,528	30,988	30,779	
執行率（%）		97.5%	99.4%	98.5%	99.3%	96.3%	97.9%	
補助金の成果	手段に対する指標 （活動指標）	指標	補助金交付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		150	R7	目標	154	150	151	150
				実績	152	149	150	148
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	150	150	150	150	150	150
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	交付件数の増加は、区内老人クラブの増加を意味し、クラブが増加することで、高齢者が活動する場が増えるため。							
	目的に対する指標 （成果指標）	指標	老人クラブ活動回数				単位	回
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		54,600	R7	目標	53,800	53,800	53,900	54,000
			実績	53,791	62,507	57,994	49,245	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		54,100	54,200	54,300	54,400	54,500	54,600	
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
活動回数の増加は、老人クラブに加入している高齢者の生きがいにつながっているため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	<p>高齢者の老人クラブへの加入率は23区トップクラスである。老人クラブでの活動は、組織活動であり、高齢者の健康づくりや生きがいづくりのほか、地域での介護予防の担い手や友愛実践活動（高齢者の見守り）等での活躍が期待される。このことから、今後も助成金事業を継続して実施する。</p>

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人クラブ会員数が、高齢化により減少傾向である。また、会長の後継者がおらず、長年勤めた会長がクラブをやめてしまうと、会長のなり手がおらず、クラブを解散してしまう傾向にある。 ・ 新規会員（特に60代の若い世代）の入会が少ない。雇用期間の延長や、価値観の多様化等により、60歳になって老人クラブに入会する方が以前と比較して少ない傾向にある。

補助金名称	老人クラブ連合会助成金			主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区老人クラブ連合会助成要綱			高齢者福祉課支援係
補助概要	墨田区老人クラブ連合会が実施する事業に対して、その経費の一部を助成することにより、各老人クラブの活動を側面から支援する。			03-5608-6168
目的	連合会が実施する事業に対して、その経費の一部を助成することにより老人福祉の増進に資する。			
対象	墨田区老人クラブ連合会			
基準	区独自基準			
補助条件	助成金交付申請書、事業計画書、収支予算書の提出が必要。			
経過	開始年度	昭和46年度	終了予定	
	[昭和46年度] 助成開始			
議会質問の状況	[平成30年決算特別委員会] 助成金増額要望書及び助成金支出の見直しについて			
その他	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)			
特記事項				

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算額（事業費）		14,272	11,882	11,961	12,260	12,599	13,100
決算額（令和2年度は見込み）		14,254	11,864	11,916	12,233	12,554	12,977
財源	国						
	都	986	974	896	934	911	897
	その他						
一般財源		13,268	10,890	11,020	11,299	11,643	12,080
執行率（％）		99.9%	99.8%	99.6%	99.8%	99.6%	99.1%

補助金の成果	手段に対する指標（活動指標）	指標	墨老連関係事業数				単位	事業	
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1		
		95	R7	目標 95	95	95	95		
				実績 93	93	93	82		
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	95	95	95	95	95		
		実績							
		指標の選定理由及び目標値の理由							
	墨田区老人クラブ連合会主催の事業数が増加することは、各老人クラブの活動を側面から支援したことにつながるため。								
		目的に対する指標（成果指標）	指標	連合会関係事業参加者数				単位	人
			最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
			20,000	R7	目標 22,000	22,000	22,000	20,000	
				実績 21,639	20,823	18,842	19,143		
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標			20,000	20,000	20,000	20,000	20,000		
実績									
指標の選定理由及び目標値の理由									
参加者数の増加は、多くの高齢者の生きがいにつながるため。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	<p>墨田区老人クラブ連合会は、軽スポーツ大会、文化的活動、研修会や旅行などの様々な事業を主催し、高齢者の活躍の場の創出、閉じこもり防止に寄与している。墨田区老人クラブ連合会が各老人クラブの活動を下支えしていることが、区の老人クラブの高い組織率に結び付いている。このことから、今後も助成金事業を継続して実施する。</p>

課題・問題点
<p>墨田区老人クラブ連合会主催の事業には、老人クラブに属していない区民も参加できるようにしている。事業への参加をきっかけとして、老人クラブへの加入に結び付けたいが、なかなか入会に結び付いていない。</p>

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	受入施設数				単位	施設
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		65	令和7年度	目標	44	49	51	53
				実績	47	49	52	60
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	55	57	59	641	63	65
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	高齢者がボランティア活動を行うことができる施設の選択肢が増えることによって、より活発な活動を期待できるようになる。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	登録人数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
224		令和7年度	目標	200	200	203	206	
			実績	195	196	183	175	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		209	212	215	218	221	224	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
本制度に登録する高齢者の人数の推移により、事業の目的の達成の度合いを測ることができる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	受入れ施設を増やすことでボランティアの活動の場を確保し、ボランティア数の一層の増加を図る。

課題・問題点
各施設におけるボランティアの定着化が進んだ一方、メンバーが固定化傾向にあるため新規受入れ枠が減少している状況にある。 登録ボランティアが十分に活動できる場を確保するため、受入れ施設を増やす必要がある。

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	セカンドステージセミナー及び生きがい講座参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,150	37	目標	1,150	1,150	1,150	1,150
				実績	1,058	1,118	1,099	926
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	セカンドステージセミナー、生きがい講座の参加者は、高齢者の交流や外出機会の創出につながった数値となるため。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	活動指標事業の参加者満足度				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		90	37	目標	90	90	90	90
				実績	87.1	89.9	88.7	91.7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	90	90	90	90	90	90
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
セカンドステージセミナー、生きがい講座の参加者アンケートによる満足度を図ることにより、当該事業が高齢者の生きがいや社会参加の一助に資するかが測れるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	セミナーや講座については、目標人数には及ばないものの、多くの人に参加しており、リピーターだけでなく、新たな元気高齢者を呼び込めている。今後も講座内容を多様なものにするなど工夫を重ねる。

課題・問題点
セミナーや講座に参加している高齢者自身の社会参加、生きがい創出につながっている事業ではあるが、人材バンクの登録者は伸び悩んでいる。ボランティア活動をしたい高齢者を如何に地域活動へつなげていくかが課題である。また、高齢者向けに情報を配信しているメールマガジン登録者も横ばいである。

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	にここ入浴実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		2,000	令和7年度	目標	1,400	1,800	1,951	2,000
				実績	1,407	1,811	1,957	1,859
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど高齢者のふれあいの機会創出につながるため。なお、平成29年度は年度途中で浴場数に変動があり、平成30年度は年度途中で休業した浴場があったため、目標値の修正を行っている。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	にここ入浴利用者延べ人数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
294,000		令和7年度	目標	290,000	293,000	294,000	294,000	
			実績	293,654	288,275	288,667	278,041	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		294,000	294,000	294,000	294,000	294,000	294,000	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
利用者が1人でも増えれば、高齢者の閉じこもり防止、ふれあい交流につながるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	入浴証引換券発送数が約6万人強、無料入浴券引換人数が約1万人弱、無料入浴の年間延利用者数は例年約29万人前後(R1年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり実績減)となっている。以上のとおり、本事業は多くの高齢者の閉じこもり防止、ふれあいにつながっており、今後も事業を見直しつつ引き続き継続して実施していく。

課題・問題点
高齢者人口は増加傾向にある一方で、経営者の高齢化や燃料費の高騰などにより、公衆浴場は減少傾向にある。

施策	431	元気で生きがい満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事業名	いきいきプラザの管理運営費		6
目的	高齢者の健康増進及び生きがい創出並びに交流の促進を図るための事業を実施するとともに、活動の場を提供することにより、高齢者の福祉の増進を図る。		主管課・係(担当)
			高齢者福祉課相談係 03-5608-6171
対象者	区内に住所を有する60歳以上の高齢者及びその介護者並びにボランティア前号の高齢者、介護者又はボランティアの組織する団体、に掲げるもののほか、指定管理者が特に認める者及び団体		
根拠法令 関連計画	いきいきプラザ条例、同条例施行規則 墨田区高齢者福祉総合計画・第7期介護保険事業計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 社会福祉法人 カメリア会
事業内容	健康増進、生きがい創出等に関すること。 交流の促進に関すること。 情報の収集及び提供並びに相談に関すること。 いきいきプラザの利用に関すること。 ～ に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業		
経過	開始年度	平成16年	終了予定
	平成16年12月開設。 開設当時から指定管理者制度(1期:5年)が導入されており、指定管理者は、開設当時から3期目(平成30年3月31日)までNPO法人ワークスコープ、第4期(平成30年4月1日から令和5年3月31日まで)から社会福祉法人カメリア会となっている。		
議会質問の状況	[平成29年第4回定例会] 指定管理者の変更に伴う、今後の職員体制や施設運営について [平成30年第2回定例会] 指定管理者の変更について		
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		74,365	74,886	75,500	45,876	49,219	47,692
決算額(令和2年度は見込み)		74,349	74,886	75,491	45,869	47,481	47,692
財源	国						
	都	31,077	31,077	31,077	22,106	22,328	26,666
	その他						
一般財源		43,272	43,809	44,414	23,763	25,153	21,026
執行率(%)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.5%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	指定管理料	44,213	委託料	指定管理料	44,606	指定管理料	指定管理料	45,102
工事請負費	緊急工事対応経費	1,247	使用料及び賃借料	PCリース料等	360	使用料及び賃借料	PCリース料等	161
備品購入費	破損対応分	410	工事請負費	大規模改修工事等	2,516	工事請負費	工事等	700
						備品購入費	破損等対応分	280

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	モニタリング実施率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
				目標	100	100	100	100
				実績	100	100	100	100
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	適切に施設が管理運営されていることを定期的に確認する必要があるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	年間延べ利用者人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		70,000	H32	目標	60,000	65,000	65,000	65,000
				実績	65,700	65,948	57,668	49,502
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
一人でも多くの利用者があれば、それだけ高齢者にとって有意義な施設となり、元気で生きがいに満ちた高齢者の暮らしを支援できたことになるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	体操等の介護予防事業や将棋・囲碁教室等の趣味・生きがい講座をはじめ、近隣の児童館等との連携による幅広い世代との交流イベント等が開催され、利用者から好評を得ている。今後は利用者同士の支え合いを基盤とした「団体の自主化」につながるよう支援を強化していく。

課題・問題点
高齢者が更に増加することに伴い、多種多様なニーズが増加することが見込まれる。今後も利用者のニーズに適切に対応した事業を実施していけるような体制を整える必要がある。

施 策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事 業 名	高齢者福祉センター運営経費		7
目 的	高齢者に対して健康の増進と教養の向上のため各種サービスを提供することにより、高齢者の福祉の充実を図る。		主管課・係（担当） 高齢者福祉課相談係 03-5608-6171
対 象 者	区内に住所を有する60歳以上の高齢者及びその介護者並びにボランティアの高齢者、介護者又はボランティアの組織する団体 指定管理者が特に認める者及び団体		
根拠法令 関連計画	・ 墨田区高齢者福祉保健センター条例、同施行規則 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画・第7期介護保険事業計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 経過欄のとおり
事業内容	指定管理者が主催する体操や卓球などの健康の保持と増進に関する教室及び囲碁・将棋教室等の教養講座の実施や、自主サークルの活動を行う場所の提供を行うことで、高齢者の福祉の充実を図る。		
経 過	開始年度	平成6年	終了予定
	立花ゆうゆう館 平成6年開設、平成18年度から指定管理者制度を導入した。 指定管理者は、第1期(平成18年4月1日から平成21年3月31日まで)墨田区社会福祉事業団、 第2期から第4期(平成21年4月1日から令和4年3月31日まで)はNPO法人てねん・どすこい倶楽部である。 梅若ゆうゆう館 平成12年4月に開設、平成18年度から指定管理者制度を導入した。 平成18年度から、指定管理者は墨田区社会福祉事業団であり、現在3期目である(令和3年3月31日まで)。		
議 会 質 問 の 状 況	[平成28年2定] 元気高齢者施設の増設について [平成29年予算特別委員会] 稼働率について [平成30年予算特別委員会] 医療連携、自主事業について		
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額（事業費）		69,717	73,637	107,354	76,727	89,221	80,155
決算額（令和2年度は見込み）		68,026	71,820	94,774	74,363	81,582	80,155
財 源	国						
	都					8,577	24,393
	その他						
一般財源		68,026	71,820	94,774	74,363	73,005	55,762
執行率（％）		97.6%	97.5%	88.3%	96.9%	91.4%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成30年度（決算）			令和元年度（決算）			令和2年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	指定管理料等	57,929	委託料	指定管理料等	64,972	委託料	指定管理料等	60,808
使用料および賃借料	土地賃借料、リース料	14,040	使用料および賃借料	土地賃借料、リース料	14,508	使用料および賃借料	土地賃借料、リース料	14,640
工事請負費		483	工事請負費		9,231	工事請負費		2,179
備品購入費		1,171	備品購入費		930	備品購入費		0
需用費	光熱水費	739	需用費	光熱水費	712	需用費	光熱水費	930

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	モニタリング実施率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		100	100	目標	100	100	100	100
				実績	100	100	100	100
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	墨田区の指定管理施設として、適切に施設が管理運営されていることを定期的に確認する必要があるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	年間延べ利用者人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		103,000	R7	目標	101,400	100,000	101,000	102,000
				実績	99,133	102,099	104,778	93,324
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	103,000	103,000	103,000	103,000	103,000	103,000
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
一人でも多くの利用者があれば、それだけ高齢者にとって有意義な施設となり、元気で生きがいに満ちた高齢者の暮らしを支援できたことになるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	<p>多くの元気高齢者に社会参加と自己実現を果たせる拠点として認知されている。</p> <p>今後も、施設が担うべき社会的役割(就労支援、仲間づくり等)や、利用者のニーズに対応した事業を取り入れ、より高齢者に活用されるよう努めていく。</p> <p>また、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数が目標に至らなかったが、前年度前々年度については達成している。</p>

課題・問題点

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		233	R7	目 標	182	175	184	195
				実 績	176	169	187	158
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	183	193	203	213	223	233
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど、高齢者の外出の機会や地域との交流の機会が多くなるため、1園が補助金の申請を辞退したため、R2年度以降の目標値を修正する。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	参加延べ人数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
3,787		R7	目 標	3,964	3,829	3,886	3,944	
			実 績	3,643	3,514	3,508	2,745	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標		3,779	3,823	3,844	3,844	3,823	3,787	
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
参加延べ人数は、本事業が、地域社会との交流の促進や健康増進、生きがいの創出に寄与した実際の高齢者数を表しているため、各園のふれあい給食定員数の合計を最終目標値として目標値を設定する。1園が補助金の申請を辞退したため、R2年度以降の目標値を修正する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業は、核家族化が進み、日頃ふれあうことの少ない地域の高齢者と保育園児が給食を通してふれあい、園児の豊かな人間性の育成や高齢者の孤独感の解消、生きがい対策の一助となっている。このため、今後も引き続き継続して実施していく。

課題・問題点
実施園が少ないため拡大していく必要がある。

補助金名称	ふれあい給食事業助成			主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区ふれあい給食事業助成金交付要綱			高齢者福祉課支援係
補助概要	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対し、経費の一部を助成している。			03-5608-6168
目的	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対しその経費の一部を助成することにより、円滑な事業の運営を促す。			
対象	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園			
基準	区独自基準			
補助条件	助成を希望する私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園は、年度当初に助成金交付申請書と事業計画書を区長に提出し、事業年度終了後30日以内に、実績報告書と請求書を提出する。			
経過	開始年度	平成2年度	終了予定	
	[平成2年度] 事業開始 [平成14年度] ふれあい給食事務費の一部（各園年間60千円）を廃止			
議会質問の状況				
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 保育園児との交流事業としては墨田区のみ実施。サロン等で高齢者のみの会食事業は14区で実施。			

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	
予算額（事業費）		2,807	2,807	2,893	2,747	2,837	2,600	
決算額（令和2年度は見込み）		2,728	2,601	2,299	2,292	1,710	2,600	
財源	国							
	都	1,391	1,403	1,384	1,300	1,316	1,300	
	その他							
一般財源		1,337	1,198	915	992	394	1,300	
執行率（％）		97.2%	92.7%	79.5%	83.4%	60.3%	100.0%	
補助金の成果	手段に 対する指標 （活動指標）	指標	実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		233	R7	目標	182	175	184	195
				実績	176	169	187	158
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	183	193	203	213	223	233
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど、高齢者の外出の機会や地域との交流の機会が多くなるため、1園が補助金の申請を辞退したため、R2年度以降の目標値を修正する。							
	目的に 対する指標 （成果指標）	指標	参加延べ人数				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		3,787	R7	目標	3,964	3,829	3,886	3,944
				実績	3,643	3,514	3,508	2,745
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		3,779	3,823	3,844	3,844	3,823	3,787	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
参加延べ人数は、本事業が、地域社会との交流の促進や健康増進、生きがいの創出に寄与した実際の高齢者数を表しているため、各園のふれあい給食定員数の合計を最終目標値として目標値を設定する。1園が補助金の申請を辞退したため、R2年度以降の目標値を修正する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業は、核家族化が進み、日頃ふれあうことの少ない地域の高齢者と保育園児が給食を通してふれあい、園児の豊かな人間性の育成や高齢者の孤独感の解消、生きがい対策の一助となっている。このため、今後も引き続き継続して実施していく。

課題・問題点
実施園が少ないため拡大していく必要がある。

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	チラシ発行部数				単 位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		26,600	R 7	目 標	26,400	26,400	26,400	26,400
				実 績	26,400	26,100	26,600	26,600
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	贈呈の趣旨や方法をあらかじめ周知することにより、効率よく祝金の配布できるため。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	贈呈者数(最高齢者・百歳・米寿・喜寿)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		6,000	R 7	目 標	3,808	4,040	4,054	4,022
				実 績	3,780	3,936	3,988	3,945
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	3,482	3,061	3,443	4,406	4,395	4,365
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
祝金の贈呈が高齢者の生きがい、励みとなるため。 なお、目標数は現時点での対象者数であるため、死亡、転出等により変動する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	長寿者祝金は区民からのニーズが高く、高齢者の長寿を目指すきっかけになっているが、近年平均寿命も延びており、今後は事業を見直しつつ引き続き継続して実施していく。

課題・問題点

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	チラシ配布数				単位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		26,400	令和7年度	目標	80	26,400	26,400	26,400
				実績	100	23,987	23,843	23,856
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	26,400	26,400	26,400	26,400	26,400	26,400
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	事業内容を広く周知することで高齢者の励みの機会創出につながるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	表彰件数				単位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
130		令和7年度	目標	130	130	150	130	
			実績	130	213	338	143	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		130	150	130	130	150	130	
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
金婚を表彰することが高齢者の励みにつながるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	高齢者の励みとなる表彰制度であり、区民から喜びの言葉も多い。一方、23区では当区を含め2区の実施であり、他自治体の状況等も踏まえ、事業の必要性について検討を行う。

課題・問題点

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		370	令和7年度	目 標	456	445	445	370
				実 績	456	454	440	344
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	384	384	384	384	384	384
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど高齢者の健康増進や外出機会の創出につながる。実施施設(床数)の変動に伴い目標値を修正している。							
			指 標	利用者数				単 位
最終目標値			目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
1,536			令和7年度	目 標	1,824	1,780	1,780	1,480
				実 績	1,799	1,795	1,736	1,356
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目 標			1,536	1,536	1,536	1,536	1,536	1,536
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
利用者数は、本事業が健康増進や閉じこもり防止に寄与した高齢者数を示しているため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	マッサージ施術により、高齢者の健康増進に寄与するとともに外出機会の創出につながっている。また、施術は墨田区視覚障害者福祉協会に依頼しており、障害者の社会貢献の一端を担う事業ともなっているため、今後も引き続き継続して実施していく。

課題・問題点

補助金名称	長寿マッサージ事業に係る団体損害保険			主管課・係(担当)
根拠法令	31墨福高第998号			高齢者福祉課・支援係
補助概要	長寿マッサージ事業の施術において、施術者が区民に損害を与えた場合に速やかに保障するため、各施術者が団体損害保険に加入している。			03-5608-6168
目的	施術者が団体損害保険に加入することにより、区民が安心・安全に施術を受けることができる。			
対象	長寿マッサージ施術者			
基準	区独自基準			
補助条件	本事業のマッサージ施術に起因する事故等に対応できる保険であること。			
経過	開始年度	平成25年度	終了予定	
	<p>長寿マッサージ事業利用登録者の高齢化等に伴い、施術時に負傷などの事故が発生する危険性が高まってきた。そこで、施術を依頼している墨田区視覚障害者協会で、本業務の内容に特化した補償内容を有する団体損害保険に加入し、その経費に関して実費弁償としての補助金申請があった。この保険に加入することが事業の安全な運営に資するものであり、補助することが妥当であると認められたため、交付決定に至った。</p> <p>なお、当該保険は加入が原則施術者個人単位となっているため、区が加入者になることができないものである。</p>			
議会質問の状況				
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)			

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	
予算額(事業費)		69	66	50	43	41	41	
決算額(令和2年度は見込み)		43	46	43	40	33	41	
財源	国							
	都							
	その他							
一般財源		43	46	43	40	33	41	
執行率(%)		62.3%	69.7%	86.0%	93.0%	80.5%	100.0%	
補助金の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		370	令和7年度	目標	456	445	445	370
				実績	456	454	440	344
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	384	384	384	384	384	
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど高齢者の健康増進や外出機会の創出につながる。実施施設(床数)の変動に伴い目標値を修正している。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	保険適用件数				単位	件
最終目標値		目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1		
0		令和7年度	目標	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標	0	0	0	0	0		
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
区民が安全に施術を受けられることが理想のため、目標値は0件に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区民が安全に施術を受けられるよう、今後も引き続き継続して保険に加入する。

課題・問題点

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	大会の実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1	R7	目 標	1	1	1	1
				実 績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	1	1	1	1	1	1
		実 績	0					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	年に1回以上、安定的に事業を実施する必要があるため。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	出場者の数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		100	R7	目 標	140	140	140	140
				実 績	140	140	132	113
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	110	110	110	110	110	110
実 績		0						
指標の選定理由及び目標値の理由								
出場者数の増加が、高齢者の健康増進、生きがい創出につながるため。 なお、令和元年度の出場者数が減ったため、目標値を修正している。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、中止となった。しかし、本事業は高齢者の健康増進及び墨田区・台東区の親善交流につながるため、今後も継続して実施していく。 なお、ゲートボール人口が減少しており、近年は出場者数・出場チームの確保が難しくなっている。本事業を今後も継続させるために、墨田台東両区、老人クラブ連合会、ゲートボール協会で足並みを揃え、参加者の拡大を検討する。

課題・問題点
参加者が減少しており、確保及び拡大の方法を台東区とともに検討していく。